

「あの時、このようにしてもらいたかった…」というエピソードがありましたら教えてください。

(投稿順)

保護者からの意見	園からの回答
最近のお迎えはピンポンを鳴らしてドアを開けていただく方式ですが、中で何人が待っていらっしやると、後に入った自分が認識されているのか分からない時があります。	コロナ禍により、少しでも接触等を抑え、出来るかぎりの予防、対策に努め、インターホンでの対応をしております。お迎えの時間も集中し、その対応に追われている状況になってしまっているかもしれません。“認識されているかどうか”と不安な気持ちにさせてしまい申し訳ありません。今後、丁寧な対応を心がけ、職員の心がけや心配りもより丁寧にしていきたいと思っております。
市に提出しなくてはならない書類へのご記入を、1か月以上の余裕を持って依頼してありましたところ、提出期限直前になっても頂けずどうなりましたかと確認をした際に「ハッ！」とした表情をされ「確認しておきます」との返答でした。その後は速やかにFAXで送信を頂けたようなのですが、忘れていたなら忘れたと正直に答えて頂きたかったですし、すぐにFAXするならそのように1言頂きたかったです。何の返答も無い状態では進捗状況がわかりませんし、再発行の必要があったとしてもわかりませんでした。誠実な対応を頂きたかったと思っています。さくら組の先生です。	大変申し訳ありません。誠実さに欠く対応でした。園全体として真摯に受け止め、今後このようなことのないよう改め、職員間で認識し誠実に対応をしていきたいと思っております。
なかなか難しいとは思いますが、もうちょっと早く持ち物等の連絡をもらえると助かります。でも特に不満はありません。	持ち物の連絡ということですが、その都度変更等がある場合もあります。なるべく早くお伝えできるよう努めていきます。
コロナの影響でしかたないですが、人数制限で、おじいちゃんやおばあちゃんにこどもの園最後の運動会などの様子を、みてもらうことができなかつたのが残念でした。	行事開催に関しては、子どもたちの姿をご覧いただきたく、安全を考慮し人数制限においてなるべく実施できるよう努めております。今後コロナの状況が収束することを願いつつ、祖父母の皆様にも参加して頂けるよう工夫もしていきたいと思っております。
上の学年になると、子供が出来事を話してくれる分、先生は子どもたちの口から聞いてくださいといった感じ?なのでしょう。先生から客観的にみた子供の様子をきくことや先生と話す機会が少なかったなと感じました。	お子さんの様子についての話す機会は、希望懇談等も設け共に育ちを共有していきたいと思っております。毎日に降園時にその日にあった出来事や様子は、なるべくその日にお伝えできたらと思っております…。以上児になると子ども自身のその場面の(出来事)気持ちや感じ方の変化が現れてきます。そのような時は見守る事もありますので、後日にお話しさせていただき共有することもあります。お子さんの成長や何か変化があったときは、保護者の方からもぜひ話を聞かせていただきたいと思っております。
お天気の良い日はいつも園庭か近くの公園ばかりでの遊びに感じます。なので、晴れの日にはいつも園庭で遊んだ、近くの公園で遊んだばかり話を聞きます。散歩や少し遠い公園など園外での活動をぜひ増やしてほしいです。交通ルールを知ったり、普段見ない景色や物から刺激を受けたり集団で歩く経験をしたりと普段と違う景色が気分転換にも繋がりが子供たちにとって良い刺激になるのではと思います。	自然遊びは五感で感じるものですから、身近な園庭のいつも変わりのない風景だと感じるなかでも、子どもたちにとっては発見もあり、あらたな刺激はあるようです。例えば、0歳児であっても安心の中でどろんこになりハイハイをしたり、以上児は自然を生かし子どもたちの発案で構成された環境が整ったり、学びの世界が広がります。年齢によっても遊びが展開する場がかわってきますが、身近な環境の中でも十分にあそびを追求し、子どもの様子に応じて、園外保育の機会も考えていきたいと思っております。
・緑公園だけではなく、いろんなところ(せっかく足羽山や足羽川もあることすし)に散歩に連れて行っていろんな景色を見て触って感じてほしいです。・バスでエンゼルランドやグリーンセンター、他の公園など、上の意見とかぶりますが、少し離れた所へバスに乗ってというのを入れていただければと思います。・元気に動き回る姿が一番なのですが、毎日ではなくても、みんなでそろってあいさつするなどの団体行動、みんなの前でその日の出来事を話すなどの表現力と積極性、本堂で集中して座禅ではないですが、座ってられるなど、きちんとしないときには話を聞かないといけない、ということなども少しずつ身につけていってくれればと思います。	地域の豊かな緑の自然(足羽山・足羽川)に触れる機会は今後も設けていきたいと思っております。バスに乗っての園外保育は令和3年度にも、グリーンセンターやエンゼルランドには出向きました。子どもの姿を見取りながら子どもにあったタイミングで計画していきたいと思っております。
祖父母への手紙のプレゼント、パソコンで印刷した写真と字のみで、子どもの手が全くかかっていないことが気になります。孫が多いとどうしても他園のプレゼントや製作と比べられてしまうこともあり、スタンプや折り紙など発達に合ったものを少しでも取り入れるともっとよくなると思っております。	祖父母へのプレゼントに関しては、子どもの発達からみられる工夫なども少し取り入れることを検討していきます。